地域協働学校だより No.7

令和元年 12 月 20 日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議

「地域協働学校運営協議会」からのご報告です。12 月 6 日は畜産農家の方による 5 年生向け畜産業授業、10 日は新宿区選挙管理委員会事務局による選挙出前授業が６年生対象に行われました。概要をご紹介させていただきます。

5 年生畜産業授業～岩手県一関市金沢地区より畜産農家の方をお招きして

5 年生の社会科では、農業の学習を行います。学びをさらに深めるために、岩手県一関市立金沢小学校近くで、畜産農家として肉牛の生産に携わっていらっしゃる稲辺政美さんをゲストティーチャーにお招きして、畜産業の授業を行いました。この取組は 10 数年前から、市谷小と金沢小との交流の一環として行われてきました。

稲辺さんからは、肉用牛を飼育するという仕事（種付け、出産、子牛の飼育等）の話をしていただきました。また、1 年間や 1 日のスケジュールや大変なこと等についても詳しくお話しいただきました。また、資料をもとに、牛一頭それぞれに名前があり、血統や大きさ等によってランクや値段が決まるということも教えていただきました。さらにゲストティーチャーが肉牛を「経済動物」と呼ぶ姿から、農家の方は価格や利益のことも重視していかなければならないことを理解することができました。教師に指示されなくても自主的にメモを取ったり、積極的に質問したりする 5 年生児童の姿が印象的でした。また、この授業には、地域の方々にも数名参加していただき、稲辺様とのよい情報交換の機会となりました。

6 年生選挙出前授業と模擬選挙「明日を創る～新宿区長選挙 in ICHIGAYA」（12 月 10 日）

選挙って何？

新宿区選挙管理委員会事務局の方からの最初の質問は、何のために選挙をするのか？でした。「みんなの代表として、法律や条例を作ったり税金の使い道を決めたりする政治家を選ぶために行う」ということを確認した上で、選挙や選挙権の歴史、10 代から 30 代の若い世代の投票率が低いこと、今年の参議院選挙では全体でも 50%弱の投票率だったことなどについて教えていただきました。18 歳から選挙権を得ることになりましたが、18，9 歳の投票率は参議院選で 45%に満たなかったそうです。社会科で学ぶ選挙の三原則「普通選挙・平等選挙・秘密選挙」についてお話がありました。

市谷小選挙出前授業公報

今の自分にできることは

６年生の児童たちも６年後には選挙権を得ます。事務局の方からは、自分の将来や社会の未来について考え、身の回りのことからまわりの人と話し合ってみようという呼びかけがありました。新宿区では、子供の意見表明権が保証されています。また、最近は１８歳未満の子どもも投票所に入れるようになりました。親が投票する様子を見ることもできます。次の選挙は親子で投票所に行ってみてはどうでしょうか。

いよいよ区長選挙！

当日、体育館には、受付・用紙交付所・記載台・投票箱・立ち合いの選挙管理人の方、などすべて実際の投票会場の設営がされていました。ここで４人の６年生が区長候補者として立会演説会を行い、その後の投票・開票・集計といったすべてのプロセスを体験することができました。４人の候補の主張をまとめた選挙公報や投票用紙と引き換えるための整理券（本物と同じ様式）も事前に配られました。
立会演説会では４人の候補がそれぞれ「観光地整備」「教育改革」「バリアフリー化」「安心安全な町」といった公約を具体的に挙げながら演説し、どのような新宿区にしたいかを伝え合いました。大人顔負けの説得力ある演説にスタッフの方も大きくうなずいていました。その後いよいよ投票です。まず投票箱が空なのを確認の上、鍵をかけ、投票管理者の投票開始宣言に続いて投票受付が始まりました。

立ち合い演説会→投票開始宣言後、受付開始→機械から投票用紙を交付→記載台で候補者の名前記入→立会人の確認のもと投票箱へ投票→投票終了宣言→投票箱を開票所（本当の選挙ならコズミックセンター）へ運び、開票宣言→投票箱の中身を空にし、票を仕分けて（イチゴパックの容器で！）計数機で数える→開票終了宣言得票結果発表

投票用紙の中には「疑問票」つまり記載が候補者４人の名前と異なる票がありましたが、どの人物かがはっきりわかる場合は有効なので、名字なしで名前だけ書いてある票、字の間違いがある票も有効となりました。結果は、なんとたったの一票差で教育改革を訴えた候補者の当選が決まり、児童たちは自分の一票がいかに大切かを実感できました。

質問コーナー

Q.高さの違う記入台が１つありましたが？
A.車いすの人も書きやすいようにしています。もっと多く設置するところもあります。
Q.得票数が全く同じだった場合はどうするのですか。
A.くじ棒を使って選挙管理委員長がくじ引きして当選者を決めます。
Q.同姓同名の候補者がいたらどうなりますか。
A.過去の例では名前の前に役職名を付けて区別しました。

今回の『選挙』の投票管理者をされた「明るい選挙推進委員」の小島さんからは、「今回は１票の重みがよくわかった選挙となりました。自分の意見を表明するために、皆さんのご両親にも選挙には必ず行ってもらってください。そして18歳になったら投票立会人としてお手伝いにも参加してください。おいしいお弁当も出ます。」とお話がありました。新宿区選挙管理委員会事務局の皆様、明るい選挙推進委員の皆様、有難うございました。